

ブドウの棚掛けを学ぼう

棚掛け workshop

令和3年

2.15 MON
開講!!

ブドウ畑の連なる農業景観は、日本農業遺産や日本遺産の重要な構成資産のひとつです。400年前、甲斐の徳本が竹棚を考案し、明治に入り電信線の配架をヒントに針金を使った棚が作られるようになりました。その後改良が重ねられ、現在のような「甲州式ブドウ棚」と呼ばれるスタイルになり、全国に普及しました。

湿潤な日本の気候条件の中で、峡東地域が日本一のブドウの産地となったのは、この甲州式ブドウ棚による疎植・大木仕立ての栽培方法が確立されたことが大きな要因といえます。

「ブドウの棚掛けワークショップ」では、甲州式ブドウ棚の掛け方の基礎、針金の巻き方などを実際の棚掛けの現場で学びます。

対象 峡東地域在住で棚掛けの基礎を学びたい方

日時 2月15日（月） 10時～12時

内容 甲州式ブドウ棚の掛け方の基礎、針金の巻き方など

会場 笛吹市一宮町本都塚ほ場

集合 いちのみや桃の里スポーツ公園駐車場 9:50

講師 かつぬま 棚掛け屋 大野組代表
大野 清慶 氏

申込 2月9日（火）までに問い合わせ先までFAX・メールでお申し込みください。定員15名 先着順とさせていただきます。



主催・問い合わせ

峡東地域世界農業遺産推進協議会事務局（甲州市役所農林振興課内）

TEL 0553-32-5092 FAX 0553-32-5174

Mail : nourinshinkou@city.koshu.lg.jp



FAX 0553-32-5174

mail:nourinshinkou@city.koshu.lg.jp

ブドウの棚掛けワークショップ申込書

氏名	住所	TEL mail

- 会場付近には駐車スペースがありませんので、集合場所から会場まで市役所のワゴン車にて送迎いたします。
- 会場となる農園の場所、集合場所の詳細、持ち物、中止・延期の判断等については、参加者の皆様に直接お知らせいたします。
- ご記入いただいた個人情報につきましては、本ワークショップの連絡のために利用させていただきます。
- また今後、峡東地域世界農業遺産推進協議会主催のセミナー等のご案内、その他、農業遺産関連情報のご提供のために利用させていただく場合があります。